

ホントに美味しい!!  
超カンタンお好み焼き等  
…の調理中



奥はニラせんべい



服部先生(手前)と坪根先生  
「料理は楽しくないとお」

## 過保護になるべし…!?!

### 「やさしい心を育てる懇談会」

11月15日(土)に、飯山市教育委員会・福祉事務所・社協主催の「やさしい心を育てる懇談会(福祉教育懇談会)」が、飯山小学校で開催されました。

当日、約二百名の参加者が集まり、地域に根ざした福祉の心(やさしい心)を子どもたちにもつてもらおうと、講演会と分散会を行いました。



「過保護たれ!!」と力説する奥村先生

講演会では、元・長野市教育長の奥村秀雄先生に、「子どもを育てる家庭教育の大切さ」とある親子との出会い」と題してお話いただきました。

「家庭でのしつけ」、地域や社会での「出会い」、これらが子どもに与える影響は多大であり、親は是非「過保護」になつてほしい」という内容でした。「過保護がいいの?!」とお思いの向きもあるかと思いますが、「過保護で良い」のだそうです。

ただし、先生の仰る「過保護」とは、「子どもが一本立ちするための手助けをする、そのために見守る・保護すること、世間という、いわゆる「教育ママ」的なものとは違います。これは「ベタつき」と呼ぶのだそうです。

講演の中で、「最近、保育園や学校の運動会はカメラマンの集まりになつている。これはベタつき。自分の目でしっかりと子どもの成長を見守つて欲しい」という話がありました。イベントごとでの「一日カメラマン」(筆者)は、非常に耳が痛かったです。「でも、子どもの結婚式とかで、『ちっちゃい頃の写真が二枚もない!!』なんて言われても困るしなあ…」、などとジレンマを抱きながらお聴きしました。

その後の分散会では、「日頃、子どもの心の育ちにどう関わるか」と題して、奥村先生に「毎日声がけすれば返ってくるようになる」等、いろいろな問題提示や意見提案が出されます。子どもをターゲットにした犯罪が多発するこのご時世、これこそ、飯山市民が行政・学校・警察等関係機関と一丸となつて取り組むべき課題ではないかと思われました。

会場には200名を越す参加者が…

## ～会員の皆さんへ～

### お金田やぶい…

11月8日(土)に、女性センター未来で「第三回飯山版パパ検定」が行われました。

今回は「パパ検」だけでなく、リトミックと料理教室も併せて行われました。

リトミック(左の写真参照)は、中野市の小林寿美先生が、料理教室は坪根登美子先生と服部恒美先生(が担当してくださいました。パパさんが苦しんで?)。右下写真)いる間に、お母さんとお子様たちは楽しんでいました。



みんなで楽しくリトミック♪



みんなで楽しく料理しました



「美味しいおいしい!!」とパクパク

「関西風お好み焼き」…ではなく、大阪出身の服部先生直伝の真正正銘の「関西お好み焼き」に、「ニラせんべい」も作りました。先生方のご指導のもと、いろいろ悪戦苦闘しながら、それでもみんなで一緒に楽しく作りました。

そして、その後はお楽しみ会の試食会。先生いわく、「お金がなくてもズクを出せばこんな」



その頃パパは、例の「責め苦」…

に美味しいものが食べられる」と。あと、「地元で採れたものを食べよう」とも仰っていました。

### 飯山市児童センター・館・クラブ 平成二十一年度登録申請始めました

平成21年度の飯山市児童センター・館・クラブ(以下、「児童館等」)の登録申請が始まります。

左記の表を見ていただき、これに当てはまる児童(小学校1～3年生)の保護者で登録を希望される方は、お近くの児童館等または飯山市福祉センターへ申請書を取りに来てくださいます。

申込締切  
平成21年  
2月16日(月)

なお、児童センター・館へは、登録してなくても、

### 飯山市児童センター運営規程

(抜粋)

第5条 留守家庭児童等で、保護者の申し出によって利用できる児童は小学生であつて家庭環境、地域環境及び交友関係等の事情により、児童センターにおいて指導を必要とする者とする。